

## 第67回 山口県公衆衛生学会 特別講演

### 演題 新型コロナウイルス感染症がもたらしたもの

講師 しらべ 調 こうめい 恒明

(環境保健センター所長)

〈プロフィール〉

○経歴

昭和56年3月 山口大学医学部医学科卒  
昭和60年3月 山口大学大学院(生化学)終了  
昭和60年4月 山口大学助手(生化学)  
昭和63年4月 大分医科大学助手(生化学)  
平成6年4月 大分医科大学助教授(生化学)  
その間、米国ミシガン大学アナーバー校留学(2年間)  
平成19年4月 より現職

昭和60年 医学博士(山口大学)

○委員等

地方衛生研究所全国協議会副会長(平成27年度から令和2年度まで会長)  
厚生科学審議会感染症部会臨時委員(平成28年度から)  
麻疹・風しん対策推進会議(厚生労働省)構成員  
麻疹・風しんに関する小委員会(厚生労働省)委員  
新型インフルエンザ対策に関する公衆衛生対策作業班(厚生労働省)委員  
院内感染対策中央会議構成員など

○研究活動

- ・令和3年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金(厚生労働科学指定研究事業)「地方衛生研究所における即応体制と相互支援等の確立に対する研究」研究代表
- ・令和2年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金(厚生労働科学特別研究事業)「地方衛生研究所における病原体検査体制、サーベイランス対応の状況と課題」研究代表
- ・平成26年度 厚生労働科学研究費補助金(厚生労働科学特別研究事業)「科学的根拠に基づく病原体サーベイランス手法の標準化に関する緊急研究」研究代表

○その他

厚生労働科学研究等を通じて、麻疹排除、自治体の感染症検査への精度管理の導入、地方衛生研究所の法定化等に貢献した。